

市政に対する

一般質問

今定例会では、13人の議員が12月1日、2日、3日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

坂本達夫議員

- 市役所本庁舎について
- 洪水対策について
- 令和4年度予算における臨時財政対策債について
- 県道惣新田幸手線バイパスについて

四本奈緒美議員

- 幸手市における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の取り組みについて
- 幸手交差点の音響式信号機について

小林啓子議員

- 子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)の定期接種について

本田謡子議員

- 小学生へのAED使用について
- 災害時の要支援者に対する幸手市の体制について
- 桜の木を守ることにについて
- これからの地域福祉の要となるコミュニティソーシャルワーカーについて
- 幸手市のホームページについて

小河原浩和議員

- 吉田幼稚園園後の跡地の利活用について
- 高平橋の安全と今後の地域活性化について

松田雅代議員

- 事務処理ミスの発生抑止、事務改善について
- 市立吉田幼稚園廃止後の公的幼稚園教育の今後について
- 入所しやすい介護施設の整備について

青木章議員

- 幸手桜高等学校について
- 新型コロナワクチン接種状況等について
- 県営権現堂公園について

小林英雄議員

- 市職員の定年延長について
- 市役所本庁舎建て替えについて

海老沼隆夫議員

- 新型コロナウイルス感染対策他について
- 75歳以上の高齢者の医療費について
- 危険な県道について
- 栄地区のエレベーター設置について
- 市長選公約の実現について

武藤壽男議員

- 農業の現状と市の農業政策について

枝久保喜八郎議員

- 市道1-5号線(香日向中央通り)の交通状況について
- 市街化調整区域における住居系の開発許可について
- 地域脱炭素移行対策について

木村治夫議員

- 幸手中央地区産業団地整備事業について
- 交通安全施設整備事業について
- 地域の特性を活かした観光の振興について

大平泰二議員

- 介護保険について
- 国民健康保険保養施設の利用に関する規則について
- 繰越明許について

12月定例会

傍聴者	28の方が傍聴されました。		
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。			
10月	55件	11月	110件
12月		2019件	
の方が視聴されました。			

3月定例会のお知らせ

2月18日 開会予定です。
詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.city.satte.lg.jp/>

12月1日(本会議)	・閉会
12月2日(本会議)	・議員長報告、質疑、討論、採決
12月3日(本会議)	・議案に対する質疑
12月4日(委員会)	・議案の委員会付託
12月5日(委員会)	・総務常任委員会
12月6日(委員会)	・文教厚生常任委員会
12月7日(委員会)	・建設経済常任委員会
12月8日(本会議)	・議案に対する一般質問
12月9日(本会議)	・市政に対する一般質問
12月10日(本会議)	・市役所本庁舎建て替えについて
12月11日(本会議)	・市長選公約の実現について
12月12日(本会議)	・市職員の定年延長について
12月13日(本会議)	・市役所本庁舎建て替えについて
12月14日(本会議)	・市職員の定年延長について
12月15日(本会議)	・市役所本庁舎建て替えについて
12月16日(本会議)	・市職員の定年延長について
12月17日(本会議)	・市役所本庁舎建て替えについて
12月18日(本会議)	・市職員の定年延長について
12月19日(本会議)	・市役所本庁舎建て替えについて
12月20日(本会議)	・市職員の定年延長について
12月21日(本会議)	・市役所本庁舎建て替えについて
12月22日(本会議)	・市職員の定年延長について
12月23日(本会議)	・市役所本庁舎建て替えについて
12月24日(本会議)	・市職員の定年延長について
12月25日(本会議)	・市役所本庁舎建て替えについて
12月26日(本会議)	・市職員の定年延長について
12月27日(本会議)	・市役所本庁舎建て替えについて
12月28日(本会議)	・市職員の定年延長について
12月29日(本会議)	・市役所本庁舎建て替えについて
12月30日(本会議)	・市職員の定年延長について
12月31日(本会議)	・市役所本庁舎建て替えについて

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 12月定例会の会議録は3月上旬頃公開予定です。

耐震上問題のある市役所本庁舎について



坂本達夫議員

Q

本庁舎は昭和42年8月に完成し、既に54年が経過しています。平成23年、市は耐震診断を実施しました。結果は、大きな地震が来れば本庁舎は耐えられないとのこと。その後市は、平成31年2月、本庁舎を建て替える方針を示しましたが、現在でも何ら改善することなく使用しています。市民や

A

職員の命にかかわる問題です。直ちに耐震補強工事をすべきです。所見を伺います。
また、方針決定に時間を要するならば、当面は本庁舎を使用しない措置を取れないか、伺います。
市役所本庁舎の整備につきましては、庁舎機能や規模など、庁舎のあり方について検討を重ねております。御質問の耐震補強につきまし

(総合政策部長)

幸手交差点の音響式信号機について



四本奈緒美議員

Q

ヤオコー手前の幸手交差点には、視覚障がい者の方が安全に横断出来る為に、音響式信号機が設置されている。

A

しかし、現在は4つの横断歩道のうちスピーカーが設置されているのは1つの横断歩道のみで、大変危険な状況であり、視覚障がい者の方からも安全に渡

れる様に改善の要望が寄せられている。
幸手交差点の4つの横断歩道へのスピーカーの設置が必要と考えるが、市の見解と改善策を伺う。
音響式信号機の設置については、公安委員会の所管であるため、視覚障がい者の方が、幸手交差点の4つの横断歩道に音響式の信号機を設置してほしい旨、要望されている

ことを、担当課から幸手警察署に伝え、検討していただく。
(市民生活部長)



子宮頸がん予防ワクチンの定期接種について



小林啓子議員

Q

厚生労働省においては、ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種について、平成25年6月の副反応の発生により積極的勧奨とならないよう留意すること等市町村に勧告をしたが、ワクチンの安全性について特段の懸念が認められないことが確認され令和4年4月より順次実施することとなった。こ

A

令和3年11月26日の厚生労働省からの通知により、令和4年度から積極的勧奨が再開されることとなった。具体的には令和4年度に13歳になる方又はその保護者へ、なるべく早いうちに個別通知を行い、情報提供と周知を行う予定であ

る。加えてこれまで積極的勧奨を受けていない14歳から16歳までの方には、年齢の高い方から個別通知を行う。これらは広報紙やホームページに掲載すると共に、問い合わせに対しては丁寧な情報提供に努める。

(健康福祉部長)

コミュニティソーシャルワーカーの育成を



本田謡子議員

Q

これからの社会や地域福祉の取り組みには、地域の特徴をよく理解し、その地域の専門の方々(医療、民生委員、児童委員、区長、地域住民、ボランティアなど)をつなぎ、地域が主体となり解決していくこうとする体制の要である「コミュニティソーシャルワーカー」の存在が重要となります。

A

現在、民生委員など社会福祉の増進に努めている各分野の方々との協力・連携体制を構築しているところで、大幅な体制整備を必要とする時期ではないと考えています。ただし、市では、総合的な相談

支援体制の充実と重層的支援体制の整備・拡充を目指しています。

今後、この体制の整備・充実を図るためにも、社会福祉分野における地域の専門の方々をつなぐ仕組みとしてコミュニティソーシャルワーカーの活用も含めて研究します。

(健康福祉部長)



松田雅代議員

望まれる入所しやすい介護施設の整備

Q

幸手市では近隣に先がけ、高齢化率が上昇。高齢者のみの世帯や独居高齢者も増えている。また、今後は子ども世代が遠距離で介護をするケースが多くなることが想定される。国は在宅介護を基本とする方針だが、要介護3以上の方が安全で安心して生活を維持するにはやはり施設の整備は欠か

A

市内には入所施設が21か所920床整備されている。特別養護老人ホームに待機者が生じているが、待機者を減らすには他の在宅・入所サービスを組合せて利用していく必

せない。
幸手市における施設整備の現状と入所困難な状況、課題と、施設利用の今後の見通し、課題解決に向けた対策、来年度の対応を伺う。
要がある。今後、施設入所の要望が高まることが見込まれる。特別養護老人ホームについては、地域の実情に合わせた増床について基準の見直しを国・県に働きかけていく。また、公募方式で看護小規模多機能型居宅介護施設の整備を予定する。身体の状態に合わせた施設整備に取り組みたい。

(健康福祉部長)



小河原浩和議員

吉田幼稚園廃園後の跡地の利活用について

Q

吉田幼稚園廃園まで、あと数か月と迫ったが、木村市長はその後の利活用についてどのようにお考えなのか伺う。もし、現時点で決まっていないうのなら、地元の意見や思いを反映出来るようにしてほしい。また、来年4月以降も地域や各種団体等に園庭等の開放等を続けてほしい。

A

既に吉田幼稚園の跡地利用について検討するよう関係部署に指示をしているが、これまで今の幼児教育を大切にしたいという思いから、積極的な議論は差し控えてきた。このため今後の具体的な活用方法は現時点では未定である。よって地元の皆様の声を伺う段階でなく、その機会も設けていないが、各種団体等から要望や提案などはいただいている。なお、来年4月以降の開放等

に向けては、新たなルール作りが必要と考えている。

(市長)



新たに整備中の権現堂公園について



青木 章議員

Q

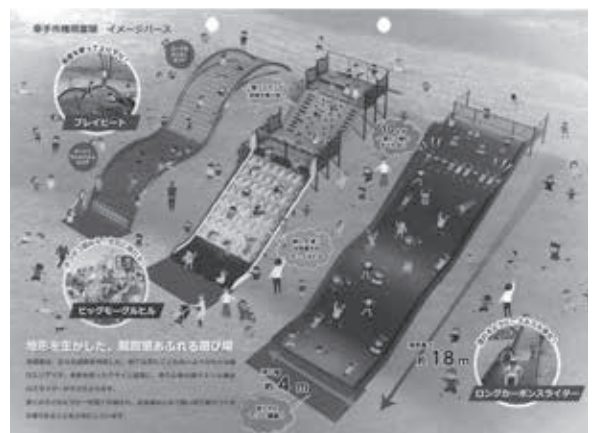
現在整備中の権現堂第2公園には、デイキャンプ場や子供が遊べる大型遊具が設置される予定です。この公園の概要とオープン時期を伺います。また、賑わいのある権現堂公園に市内商工業者が出店できるように対応して欲しい。

A

現在整備中の権現堂第2公園は、「緑に囲まれた水辺のレクリエーションの拠点」として、災害時には「防災公園」として、埼玉県が整備を進めています。開園時期は、令和4年の秋頃を予定しています。

また、権現堂公園の指定管理者と連携して、ご質問がありましたとおり、商工業者の出店について調整し、地元の活性化に繋げていきたいと思えます。

(建設経済部長)



市職員の定年が60歳から65歳まで延長に



小林英雄議員

Q

公務員の定年が、法律改正により令和5年度から段階的に引き上げられ、令和13年度には、65歳定年となる。定年延長により公務が長期的に及ぶ中、組織の新陳代謝、活力を維持するため、管理職が60歳になると、管理監督職務上限年齢制(役職定年制)が導入される。これにより部課長が、定

A

市としては、これまで職員が培ってきた多様な専門的知識や経験を積極的に活用できる環境を整備し、次の世代にその知識や技術、経験などを継承していくことが大切であると考える。

年前に降任することとなり、後継者の育成や、人材の登用が大きな課題となる。女性の登用や、組織の見直しも必要と考える。市の考えを伺う。

また、女性の登用についてもワーク・ライフ・バランスを図り、キャリア形成の支援に努め管理職を目指すような環境づくりが必要と考える。

定年延長制導入後も、組織の活力を維持し、もって公務能力の維持増進が図られるよう組織づくりを進めていく。

(総務部長)



武藤 壽男議員

米の生産者原価と米価の下落の影響は

Q

市内の農業の主業は稲作である。本年は、販売米価が近県よりも安く、8千円程度に下落し、多くの農家経営が赤字となり、危機的状況になっている。

このような中で、市は農家が生産するためにどのくらいの経費が掛かり、生産者原価をどの位と把握されているか伺う。

A

また、この様な状況は本市の農業、農家経営にどんな影響があるか、更に、いろいろな役割を果たしている水田、については国土が守れるのか伺う。

農家が米を生産する経費としては、令和2年度において全国平均で10アール当たり11万2506円、60kg当たりでは1万3401円となっている。

市農業の環境は、本年の米価下落により一層厳しい状況となり、市農業及び農家経営に深刻な影響を及ぼし、離農を考える農家の増加を懸念している。

併せて、人や費用が必要な水田等の保全管理も困難となることが考えられるが、国や県の補助事業を活用するなど協力・支援を通じて対応していきたい。

(建設経済部長)



海老沼 隆夫議員

幸手団地へのエレベーターの設置について

Q

幸手団地自治会では、運動面や文化面などのお知らせを配布して、高齢者の方々にも心身の健康と地域のコミュニケーション形成につなげたいと考えています。しかし5階から階下への上り降りの困難を考慮して、参加出来ない方が数多くおられます。この状況を改善するためにも、幸手団地自治会では

A

幸手団地内のエレベーター設置については、令和2年度までに設置に係る現地調査、土質調査を実施し、現在は調査結果等の諸課題に関し、設置の可否を含め検討中である

とUR都市機構から伺っています。当市としては、今後もUR都市機構との情報共有に努めながら、打合せや協議等を行う際は、エレベーターの設置に係る事業の経過についての確に把握しつつ、引き続き住民の方々の声を伝えてまいります。

(総合政策部長)

香日向中央通りの交通及び道路事情について



枝久保喜八郎議員

Q この通りは、行幸小学校交差点から県道3号線

に抜ける迂回道路化しており、超重量大型車による轟音・震動が沿線住民に生活不安を与え、それによる道路の傷みも事故を誘発しかねない現況にあります。住宅街の1車線を通るより、2車線で住宅の少ない県道バイパスを利用しても距離で1:8

キロ、時間で3分ほどしか変わらず、市の補修費負担も軽減されず、市民生活の安心安全のため、道路及び交通管制管轄行政に通行規制等の要望をすることについて、市の見解を伺います。

A 香日向中央通りは、久喜市と幸手市を結ぶ都市計画道路として建設されました。このため、道路幅員などの規格は大型車の通行を想定していることから、大型車の通行

規制は難しいと思われます。しかし、地域の皆様の通勤や通学をはじめ、安心安全な生活を考慮し、県道加須幸手線バイパスに設置されている県道3号線（主要地方道さいたま栗橋線）への直進誘導案内板の移設や増設について、埼玉県に要望してまいります。（建設経済部長）

地域特性を活かした観光振興事業実施は



木村治夫議員

Q (1) 県営権現堂公園を会場とする、令和4年桜まつり実施について市長に伺う。

(2) まちなかの観光資源を有効に活用し、中心市街地への観光客誘致等、市経済を活発にするための対応、対策について市長に伺う。(3) 県営権現堂公園に隣接する臨時停車駅設置の進捗状況について市長に伺う。(4) みんな

でつくる幸せを手にするまち幸手、政策5、にぎわいと活力あふれるまちを形成するための施策について市長に伺う。

A (1) 新型コロナウイルス感染者数は減ってはいるものの、未だに収束には至っていない状況から中止とした。

(2) 主体は、個人やお店・商店街等になります、引き続き商工会と協議しながら支援を行い、特色あるお店づくり・商店街づ

くりにつなげていく。
(3) 東武鉄道からは、一般論ながら臨時的な駅を設置する考えがないとの見解が示されているが、当市との勉強会を今後実施していく同意は得られている。
(4) 交通渋滞緩和や、まちなかの回遊性を向上させる取組等を引き続き実施してまいります。（市長）

幸手市議会 「議会報告会」について

- 今年度の「議会報告会」は中止します
令和3年度の「議会報告会」は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止することといたしました。ご理解のほどよろしくお願いたします。
- 幸手市議会について、ご意見・ご要望をお聞かせください。
今年度の「議会報告会」を中止としたことから、来年度以降の開催に向けて、参加者の増大および内容の更なる充実を図ること、そして今、市議会に対してのご意見やご要望をお聞かせいただきたいと思います。ぜひご協力をお願いいたします。
- 「議会報告会」とは？
幸手市議会では、市民の皆様と市議会議員とが、直接市政全般について、自由に情報交換および意見する場として「議会報告会」を毎年、実施してきました。

提出方法

下記のメールアドレス、ファックスで送信してください。
回答は議会だより令和4年5月号をもって掲載いたします。

- ◎Eメール gikai@city.satte.lg.jp
- ◎F A X 0480-42-8824
- ◎提出期限 令和4年2月28日(月)

3月定例会 会期日程 (案)

- 2月18日(本会議)
・開会・会期の決定・報告事項
・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 2月21日・22日・24日(本会議)
・市政に対する一般質問
- 3月2日(本会議)
・議案に対する質疑・議案の委員会付託
- 3月3日・4日(委員会)
・文教厚生常任委員会
- 3月7日・8日(委員会)
・総務常任委員会
- 3月9日・10日(委員会)
・建設経済常任委員会
- 3月18日(本会議)
・委員長報告、質疑、討論、採決・閉会



大平泰二議員

保養施設の利用に関する補助について

Q

国民健康保険特別会計指定の保養所補助について「旅行代理店の仲介だと交付しない」市の方針を改めることについて。また、令和2年保養所費92万4千円中決算額は14万8千円と十分使われていません。予算の範囲で現行大人2千円を3千円に引き上げることにについて伺います。

A

市の規則で、旅行代理店が仲介した場合の取扱いを制限している自治体は、ほかにありませんでした。ホームページで確認したところ旅行代理店の仲介を禁止していない自治体もあります。多くの方にご利用いただく制度の趣旨に基づき、規則や広報の見直しを検討します。

また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、保養所の利用が大きく減少しま

した。助成額の引き上げは、今後の利用状況を見ながら、国保の運営状況を考慮して検討します。
(市民生活部長)

